

モクレン

にほんの もくれん・もくらん
よみかた

19

モクレン科

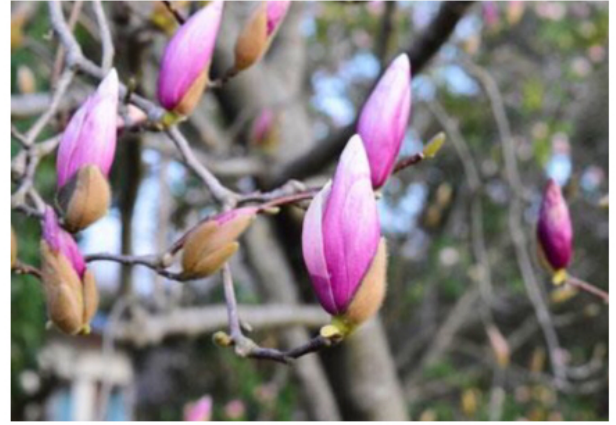
名前のゆらい

- 花がハスの花に、にていることからモクレンとなった。
- 花がランに、にていることからモクレンとなった。



モクレンの見分け方

- 花は、葉がひろくと同時に紫っぽい色の花をひろくけど、全開はしない。
- 花びらは舌(ベロ)のような形で長く、実は赤い。



そのほか

- 庭や公園などに植えられることもある。
- 木のかわを木蓮皮(モクレンピ)といい、胃(い)や腸(ちょう)に効果はある薬になったりする。



モクレン		和名	木蓮、木蘭		19
		別名	シモクレン(紫木蓮)		
分類	科(APG分類)	モクレン科	属	モクレン属	
	科(旧分類)		属		
	科(旧分類)		属		
名前の由来	<ul style="list-style-type: none"> ・ハクモクレン(白木蓮)は同属で花が白く、葉も大きく、高さも15mになる。 ・花がハスの花に似ていることから『木蓮』 ・花がランに似ていることから『木蘭』 				
樹木の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・原産地は中国南西部の雲南省、四川省。落葉広葉樹で樹高3～5mの中低木。 ・葉は互生、広卵形でやや厚く、先は急に尖り、基部は楔形、縁は全縁。 ・花は両性花、花期は4～5月、葉の展開と同時に紫紅色の花を開くが、全開せずに狭釣鐘型、外花被片(萼片)は3枚、内花被片は6枚の計9枚。 ・雄しべと雌しべは多数が螺旋状(ラセンジョウ)につく。 ・上品な強い芳香を放つ。 ・ハクモクレンとは異なり、花びらは舌状で長く、実は赤い。 ・果実は袋果が集まった集合果。暗紫褐色円筒形、長さ7～10cm。 		 		
用途・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・観賞用に庭木や公園樹、街路樹に植栽される。花は切り花としても用いられる。 ・薬用としては、樹皮を『木蓮皮(モクレン皮)』といい、健胃、整腸に効用があり、蕾は『辛夷(シンイ)』と呼び、鎮痛、鎮静、頭痛などのほか、特に鼻炎、蓄膿症によく用いられています。 				